

「東日本大震災」や「台風12号」等により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

株式会社 滋賀銀行



トップメッセージ

## 「環境経営」

滋賀銀行は、地球環境保全のシンボル・琵琶湖の畔に本拠を置く企業の社会的使命として、環境を軸に福祉・文化など広範な分野で「CSR」（企業の社会的責任）の追求に全行あげて取り組んでおります。

琵琶湖は、私たちの生活や事業活動を敏感に反映するとともに、その生態系は人と“いきもの”の微妙なバランスのうえに成り立っています。まさに私たち人間の諸活動を映す“鏡”です。

当行は、この“母なる湖”を、そして地球環境を保全し、「持続可能な社会」の実現をめざしてさまざまな活動を行っています。

その大きな柱が、経営に環境を取り込んだ「環境経営」と、金融に環境を組み込んだ「環境金融」の実践です。「お金の流れで地球環境を守る」との切なる願いを込めた、金融機関ならではの取り組みと位置づけています。

具体的には、お取引先の地球温暖化防止活動を金融面で支援する「琵琶湖原則支援資金（PLB資金）」など、環境保全に関する業界トップランナーである「エコ・ファースト企業」として、お客さまと手を携えて環境保全をめざす、さまざまな環境対応型金融商品・サービスの開発、提供に努めております。

一方、役職員が冬の琵琶湖畔に出での「ヨシ刈り」（下段写真）や、子どもたちに環境の学習と実践の場を提供する「学校ビオトープ（生物生息空間）」づくりへの助成、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナとワタカの「稚魚放流」など、環境保全活動にも取り組んでおります。

私たちは今後とも“環境・福祉・文化”を3本柱にCSR活動を展開し、地域社会との一層の「共存共栄」、琵琶湖をはじめとする地球環境の保全を図るとともに、「持続可能な社会」の実現をめざしてまいります。

当冊子「CSRレポート2011 未来をみつめて」は、それらの諸活動をまとめたものです。何とぞご高覧賜りますようお願い申し上げますとともに、当行「CSR活動」へのご支援をお願いいたします。

2011年10月

取締役頭取

大道良夫

